

令和7年度 出雲市戦没者追悼・平和祈念式典

戦没者追悼・平和祈念のことば

本日、ここに出雲市民を代表して、先の大戦において尊い生命を捧げられました戦没者の方々を偲び、真の恒久平和が実現することを強く願い、誓いのことばを申し上げます。

現在、私たちが享受している平和と繁栄は、祖国と家族を思いながらも、戦場に散った尊い犠牲の上に築かれたものであり、また、最愛のご家族を失いながらも、その深い悲しみと戦後の混乱に耐えながら、日本の再建と発展を支えてこられたご遺族の皆様のご尽力があることを決して忘れてはなりません。

本日、平和を祈念するにあたり、祖国のために亡くなられた戦没者の方々に対し、深く哀悼の意を捧げるとともに、ご遺族の皆様に対し、心から敬意を表します。

今年は戦後八十年という節目を迎えます。この間、我が国は戦争に巻き込まれることなく今日に至ってきました。しかしながら、先の大戦から八十年という長い歳月が過ぎ去り、戦争体験も記憶とともに風化していくことが危惧される今だからこそ、改めて平和の尊さ、命の大切さを心に刻む必要があります。

この八十年という節目は、新たなスタート地点でもあります。先人たちの苦しみと犠牲を忘れることなく、「二度と戦争を繰り返さない」という確固たる誓いを次世代に繋げていくことが今を生きる私たちに課せられた使命であります。

本市の六千二百四十四名にのぼる戦没者の御霊を前に、戦争のない平和な世界を願い、また、何よりも、英霊がこよなく愛したこの出雲の地で、誰もが笑顔で暮らせる豊かな未来を築いていくため、全力を尽くすことをお誓い申し上げます。

終わりに、戦没者の方々の安らかなご冥福と、ご遺族の皆さまのご平安を心からお祈り申し上げますとともに、本日ご列席の皆さまのご健勝、ご多幸をお祈りし、戦没者追悼・平和祈念のことばといたします。

令和7年8月3日

出雲市長 飯塚 俊之